



「災害時における薬剤師の役割」

～患者さんができる災害対策を添えて～

あじさい薬局
薬剤師 新木康道



お品書き

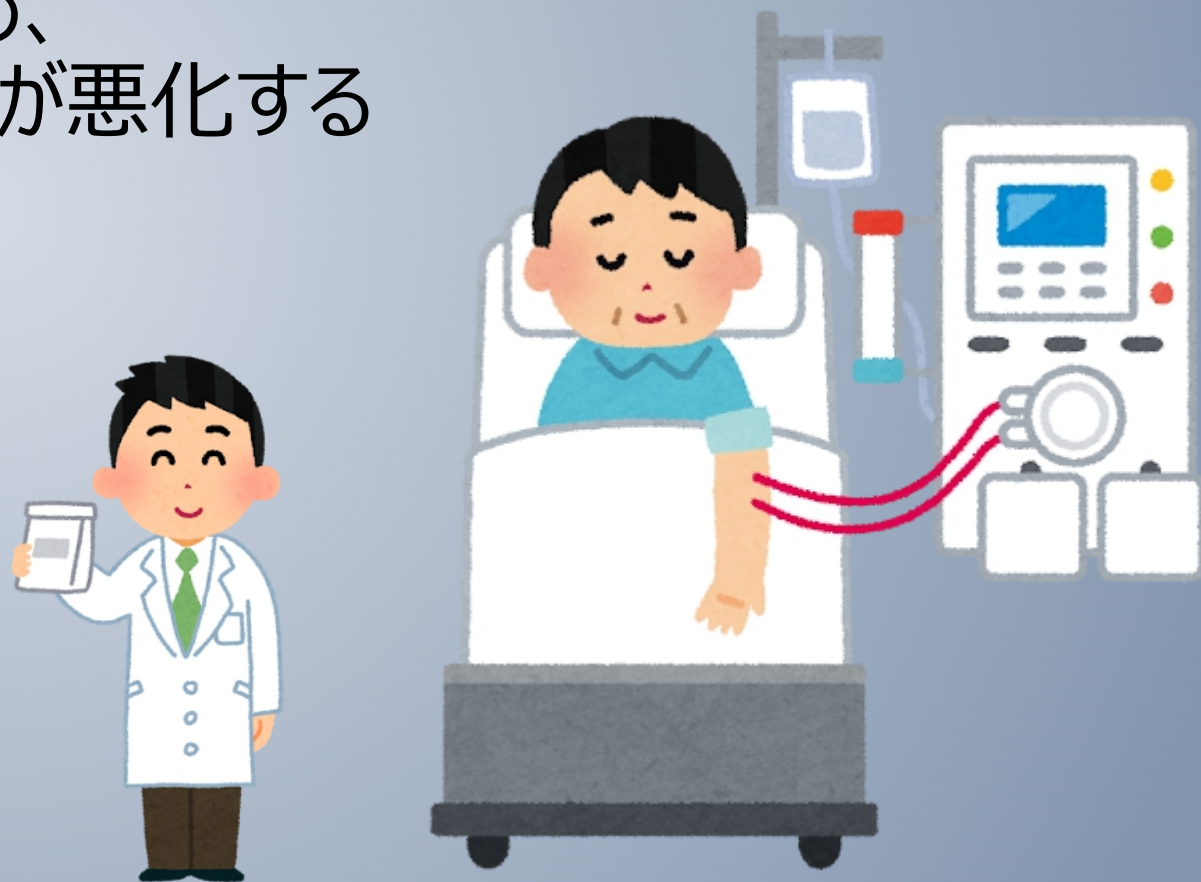
- 1.災害が起きたとき、透析患者さんにとって大切なこと
- 2.薬の準備と備えをしましょう
- 3.自分の薬のリストを持つことが大切です
- 4.災害で透析ができないとき、薬はどうする？
- 5.薬剤師もチームの一員です
- 6.透析が延びたときに気をつけること
- 7.災害時に薬剤師ができること

「災害が起きたとき、透析患者さんにとって大切なこと」

- › 停電や断水で透析ができなくなると命にかかわる
- › 多くの薬を飲んでいるため、
薬が手に入らないと体調が悪化する

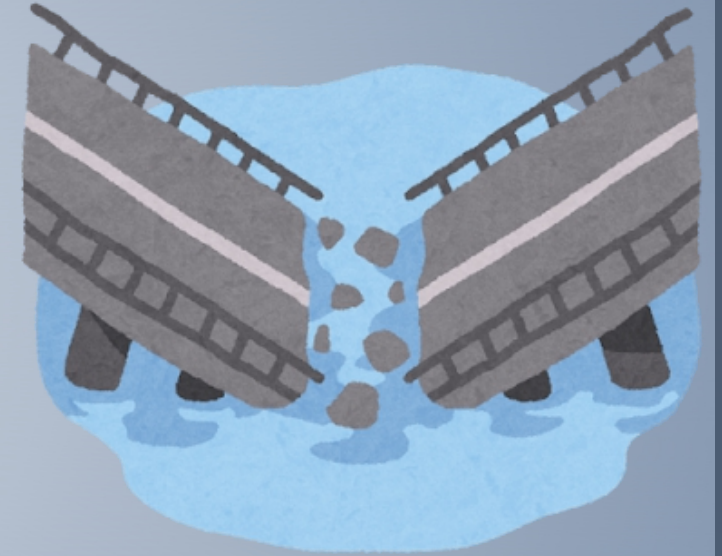
- › 薬剤師は
 - 薬の確保
 - 薬の情報整理
 - 飲み方のアドバイス

を通じて皆さんを守ります

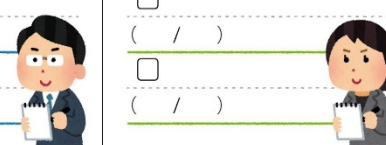


「薬の準備と備えをしましょう」

- › 透析に必要な薬（例：血を固まりにくくする薬、血圧の薬、リンを下げる薬、貧血を治す薬）があります
- › 災害時には薬が届かないこともあるので、**数日分の予備を持っておくことが大切です**
- › 薬剤師は、地域の薬局や病院と連携して、緊急時のルートを確認しています



Todo List!	Todo List!
☐	☐
(/)	(/)
☐	☐
(/)	(/)
☐	☐
(/)	(/)
☐	☐
(/)	(/)
☐	☐
(/)	(/)



› 「今どの薬を飲んでいるか」を自分でわかるようにしておきましょう



「自分の薬のリストを持つことが大切です」

- › 透析を受けている方は、飲む薬が多いことが特徴です
- › 災害で避難したり、別の病院で透析を受けることになるとき、**自分の薬の情報を伝えられるかどうか**がとても重要です
- › あらかじめ「薬の名前・量・飲む回数」を書いたリストを準備しておきましょう
- › 薬剤師もお手伝いしますので、気軽に相談してください



「災害で透析ができないとき、薬はどうする？」

- › 災害で透析が予定通りできないことがあります
- › そんなとき、**薬を勝手に飲み続けると危険な場合**もあります
- › 平常時から「どの薬は中止するのか」「どの薬は飲み続けるのか」を確認しておきましょう
- › また、飲水制限や食事の注意点もとても大切です
- › 薬剤師は、災害時の飲み方も含めて説明しますので、不安なことがあれば聞いてください



「薬剤師もチームの一員です」

- › 災害のとき、医師・看護師・技士など多くのスタッフが協力します
- › 薬剤師は「薬の専門家」として、処方安全かどうかを確認します
- › どの病院・クリニックでも同じ薬が使えるように、地域の透析ネットワークと連携しています
- › みなさんが安心して透析を受けられるよう、**チーム全員で支えます**



「透析が延びたときに気をつけること」

- › 災害で透析が延びると、体に薬がたまりやすくなります
- › 腎臓から出る薬は、透析できないと副作用が強く出ることがあります
- › 薬剤師は、「薬の量を減らす」「別の薬に替える」といった提案を医師に行います
- › 避難生活では感染症が広がりやすいので、抗菌薬や免疫を下げる薬の管理も大切です



「まとめ」

災害時に薬剤師ができること

- › 薬の供給を確保する
- › 薬の情報を整理して守る
- › 飲み方をわかりやすく伝える
- › チームの一員として協力する
- › 特殊な状況で薬を調整する

